

学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【 倉敷食と器専門学校 】

I. 事業の概要（総括）

- (1) 高度調理フードコーディネート学科は、1年次に調理師資格取得に係わる指定科目を履修し、洋食、和食、寿司、中華、麺の知識を習得できるようカリキュラムを変更し、卒業後即戦力となるよう、一層高度な知識技術の習得を目指しています。
また、校舎敷地内に羽釜を設置しました。
- (2) 高度製菓製パン学科は、1年次に製菓衛生師資格取得に係わる指定科目を履修し、2年次に受験するようにカリキュラムを変更しました。卒業時まで資格取得を目指します。
また、校舎敷地内に設置した石焼きパン窯を使用し、薪で焼くパンの知識技術も習得できるようにしました。
- (3) 「高度陶芸ガラス創作学科」から「器デザイン学科」への学科名変更が認可となりました。
器デザインを中心にデザイン力をアップすると同時に、陶芸やガラス制作もできるトータルの器を理解できる人材の育成を目指します。

II. 学校の概要

1. 学生の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

課 程	定員数		現員数		
	入学定員	収容定員	1年	2年	合計
衛生専門課程 (高度調理フードコーディネート学科、高度製菓製パン学科)	80	160	40	40	80
文化・教養専門課程 (高度陶芸ガラス創作学科)	20	40	5	10	15
小 計	100	200	45	50	95
高度陶芸ガラス創作研究科	10	10	0	-	0
合 計	110	210	45	50	95

（単位：人）

2. 学年暦

	春季休業	入学式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	卒業証書授与式
倉敷食と器専門学校	4月1日 ） 4月4日	4月5日	7月25日 ） 8月31日	12月24日 ） 1月7日	3月21日 ） 3月31日	3月23日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育活動の進捗状況

(1) 高度調理フードコーディネーター学科

高齢者介護食にかかわる授業を導入することにより、介護を必要とする高齢者のための食欲の出る調理、季節感のある料理、見た目に美しい料理などの知識、技術を習得し、食のスペシャリストとしての幅を広げました。

また、近年朝食を採らない学生が増えていることもあり「食育」が叫ばれているなか、本校でも食育に係わる授業を導入し食育インストラクターの資格取得が出来るようにしました。

(2) 高度製菓製パン学科

製菓実習の割合を増やし、より実践的な能力が身につくようにしました。

(3) 高度陶芸ガラス創作学科

建学の理念のもと、器を作る「知恵」（豊かな知識）、「喜び」（確かな技術）、「責任」（愛される人格）を持った人材を育成するため、科目内容の見直しを行い、教育内容の充実を図りました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧

(平成20年5月1日現在)

	入学者	留学者	
		留学生	社会人
倉敷 食と器 専門学校	45	0	7

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	卒業者	退学者	除籍者	休学者	留学者
					※
倉敷 食と器 専門学校	48		1	1	

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

次のことを実施し、入学志願者増を図ります。

- (1) 特待生制度の充実
特待生制度を充実させ、学費の優位性を強調しました。
- (2) 無料スクールバスの広報
倉敷駅・新倉敷駅・茶屋町から運行している無料スクールバスを宣伝し、特に児島、坂出、高松からの入学志願者の増加に努めました。
- (3) 高等学校訪問の充実
定期的に訪問し、多くの先生に本校を知っていただき、生徒への紹介をお願いし、それと同時に教員との信頼関係を築くよう努めました。
- (4) 高等学校内説明会への参加
参加回数を増加させ、多くの高校生に直接本校の説明をしました。
- (5) オープンスクールの見直し
競合校との比較において、本校が選ばれるよう、特に体験内容を見直しました。

3. 就職活動状況

- (1) 就職担当をおき、また教職員一同で積極的に就職指導を行いました。
- (2) 平成19年度に引き続き求人票の早期収集、早い時期からの就職指導等を行いました。
- (3) 学生に対しては、挨拶、返事、言葉遣いなど社会生活の基本を指導するとともに、進路・就職希望調査の実施及び模擬面接、受験指導等を実施しました。
- (4) 4月から、2年生に対してガイダンスを実施し、会社説明会、会社訪問の積極的参加を指導しました。
- (5) 就職未決定者に対し適時意識の高揚を図り、就職活動をサポートしました。
- (6) 2月に、1年生に対して就職ガイダンス、インターンシップについての心構えの指導を行いました。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	110,461	96,498
補助金収入	224	226
その他収入	3,425	2,220
帰属収入合計	114,110	98,944
基本金組入額合計	△ 1,307	△ 12
消費収入の部合計	112,803	98,932
人件費	115,426	134,211
教育研究経費	63,239	60,033
管理経費	41,515	41,183
その他支出	0	69
消費支出の部合計	220,180	235,496

○収支改善対策の具体的取組と効果

支出の削減 経費の削減

学校の清掃業務について、外部委託先を見直しました。また、ごみ収集業務を地元の業者に依頼するなど、経費の削減に努めました。以上のように、削減できるものは順次見直しを行っていききました。